

HPTOP A SERIES

No.1

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

環境配慮型屋上防水層保護仕上材

HPTopp® Aシリーズ

非歩行用塗料 (ペイントタイプ)

HPTopp.PA

軽歩行用塗料 (骨材入り)

HPTopp.SA

薄塗型軽歩行用塗料 (細骨材入り)

HPTopp.FSA



建築塗料の総合メーカー



スズカファイブ株式会社

HPトップ.A シリーズは、各種建築用の屋上防水層の保護に最適な環境にやさしい水性アクリル樹脂塗料です。防水材の伸縮に追随し密着性に優れた、高い耐候性、耐水性を有する強靱な塗膜は、防水層を長期にわたり保護します。塗膜から溶出する水溶性成分を大幅に低減させましたので、排水のCOD値を抑制し、泡立ちが少ない安心設計です。また、**遮熱タイプもラインアップに加わりました。**

特長

1. 優れた塗膜性能

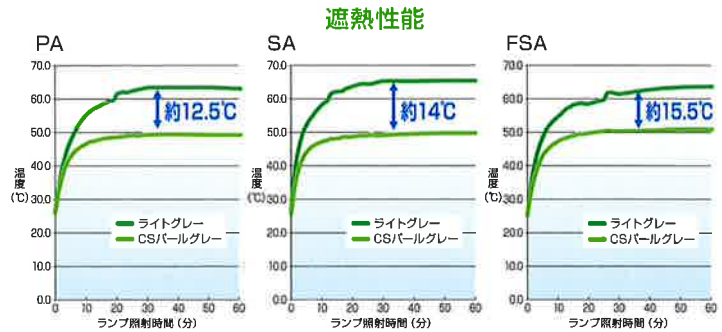
防水層への密着性、伸縮追随性が高く、耐候性、耐水性に優れた塗膜は、長期にわたり防水層を保護します。

2. 塗膜中の水溶成分溶出低減

塗膜乾燥初期の降雨により塗膜から溶出する水溶成分を抑制することで、排水の泡及びCOD値上昇を低減しました。

3. 優れた遮熱性 (CS色)

太陽光の近赤外領域の光を効率よく反射させることで建物の温度上昇を抑制できる遮熱タイプを設定しました。



1. 非歩行用塗料 (ペイントタイプ)

HPトップ.PA

● 標準施工仕様

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。				
アスファルトシーラー塗り		—	「4.各種防水材の推奨プライマー」参照		0.1~0.2kg/m ² ×1回	—
上塗り	a.HPトップPAカラー塗りの場合	0.1~0.15kg/m ² ×2回	0.15~0.2kg/m ² ×2回	0.2~0.25kg/m ² ×2回	0.1~0.15kg/m ² ×2回	エフロ(白華)を生じますので塗装できません。 ※骨材入りのSA・FSAをご使用ください。
	b.HPトップPAシルバー塗りの場合	0.15kg/m ² ×1~2回		0.2~0.3kg/m ² ×1~2回	0.15kg/m ² ×1~2回	
摘要		希 積: 無希積	塗装間隔: 2時間以上 (23℃) 最終養生: 24時間以上			
			塗装用具: ハケ、ローラー、スプレーガン			

2. 軽歩行用塗料 (骨材入り)

HPトップ.SA

● 標準施工仕様

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。				
アスファルトシーラー塗り		—	「4.各種防水材の推奨プライマー」参照		0.1~0.2kg/m ² ×1回	—
HPトップSA塗り		塗布量: 0.5~0.75kg/m ² ×2回				
摘要		希 積: 清水 0~3%	塗装間隔: 3時間以上 (23℃) 最終養生: 24時間以上			
			塗装用具: ハケ、ローラー、スプレー (モルタルガン、リシンガン等)			

3. 薄塗型軽歩行用塗料 (細骨材入り)

HPトップ.FSA

● 標準施工仕様

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。				
アスファルトシーラー塗り		—	「4.各種防水材の推奨プライマー」参照		0.1~0.2kg/m ² ×1回	—
HPトップFSA塗り		塗布量: 0.4~0.6kg/m ² ×2回				
摘要		希 積: 清水 0~3%	塗装間隔: 3時間以上 (23℃) 最終養生: 24時間以上			
			塗装用具: ハケ、ローラー、スプレー (モルタルガン、リシンガン等)			

4. 各種防水材の推奨プライマー

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材
アスファルトシーラー		—	0.1~0.2kg/m ² ×1回	0.2~0.3kg/m ² ×1回	0.1~0.2kg/m ² ×1回	—

※素地がゴムアスシート、砂付アスファルトの場合、アスファルト分の溶出、マッドカーリング現象(花咲現象)の発生抑制目的に上記プライマーの塗装をお奨めします。
※マッドカーリング現象: 水溜まり部分や不陸調整が不十分で水の滞留しやすい場所などにおいて、花粉、土、泥などの堆積物が蓄積し、これが降雨や晴天によって膨潤と乾燥収縮を繰り返し、防水層表面をめくれ上がらせる現象です。

※ウレタン防水層には、上記プライマーを必ずご使用ください。
※トップコート塗替え時、下地が脆弱及び吸込みが激しい場合は上記プライマーを塗装ください。
※既存塗膜がウレタン系トップコートの場合、上記プライマーを塗装することによりリフティング等が発生しないことを事前に確認したのち、本塗装を行ってください。

5. 標準色カラー見本

HPIツール。PA

HPIツール。SA

HPIツール。FSA

遮熱色



↑CSライトグリーン



↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー



↑CSライトグリーン



↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー



↑CSライトグリーン



↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー

標準色



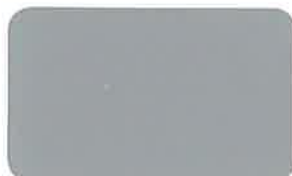
↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー



↑シルバー



↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー



↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー

※色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上りと色・つやが多少異なりますのでご了承ください。
 ※指定色の対応は行っておりません。上記標準色より選択をお願いいたします。

6. 塗料の物性

項目 種別	試験結果				試験方法
	PAシルバー	PAカラー	SAカラー	FSAカラー	
耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 6.2による 水道水浸漬4日
耐アルカリ性	—	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 6.2による 飽和Ca(OH) ₂ 水溶液浸漬4日
耐酸性	—	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 6.2による 3% H ₂ SO ₄ 水溶液浸漬4日
耐湿潤冷熱繰り返し性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 7.4による 条件1 10サイクル
促進耐候性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 7.7による キセノンランプ法 サイクルA500時間

7. 荷 姿

HPTopp.PA

15kg/缶

HPTopp.SA

18kg/缶

HPTopp.FSA

20kg/缶

アスファルトシーラー

16kg/缶・3kg/缶

8. 施工上の注意事項

《塗装できない防水層》

- ・「カラーゴムシート」は付着しないため塗装できません。
- ・「塩ビシート」はブリードを抑制できない場合がありますので塗装できません。クールトップ#500Siをご使用ください。
- ・「タールウレタン防水材」はタール分を抑制出来ない場合がありますので塗装できません。
- ・「新設FRP防水材」はパラフィン層があり、付着しないため塗装できません。（改修の場合は表面を目粗し後、アスファルトシーラーを必ず塗装してください。）

- 知見の無い防水材に塗装する場合は必ず塗装前に予備試験を行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
- 塗装する前に、被塗面のごみ、油分等を十分に取り除いてください。特に素地がゴムシートの場合、窪みや不陸部分のごみ、花粉、土、泥などが溜まりやすい箇所、塗膜の付着不良によりマッドカーリングと類似の現象を生じる場合がありますので塗装前に十分清掃してください。
- 5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けてください。低温時には特に乾燥が悪くなりますので、規定量の範囲内で、できるだけ薄く均一に塗布してください。
- 強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。かくはんは、出来るだけ泡が混入しないように十分注意してください。
- HPToppSA、HPToppFSAは重質の骨材が配合されていますので、やむをえず水で希釈（清水で3%以下）する場合は速やかに使い切ってください。骨材が沈降しハードケキになる場合があります。
- 塗料は一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合があります。特にHPToppSA、HPToppFSAは過度の厚塗りを避けてください。
- 塗装用具は、はけ・ローラー・スプレーガン等が使用できます。使用後は乾かないうちに水で洗ってください。
- 塗装完了後、初期に急激な降雨にあった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、この泡は塗膜中の界面活性剤によるもので、塗膜の異常によるものではありません。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色目もしくは目立ちにくい色目で塗装してください。
- 防水層の破断・ふくれ・はがれ・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。弊社仕様以外の仕様による塗膜欠陥には一切責任を負いかねますのでご了承ください。

9. 使用上の注意事項

- ① 塗料は、密栓して冷暗所で保管すると共に、凍結させないようにしてください。高温に長期間放置すると、変質し使用できなくなる場合があります。
- ② シルバーには活性顔料が使用されており、高温になる場所での保管やセメントへの混入は避けてください。反応によりガスが発生する恐れがあります。尚、容器にはガス抜きキャップを使用しておりますので、横倒し、逆さ積みは絶対にしないでください。
- ③ アスファルトシーラーは溶剤系ですから火気に十分注意してください。塗装用具は作業後速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。缶内への湿気の混入を避け開栓後は速やかに使い切ってください。
- ④ 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ⑤ 詳細な内容が必要な時は、安全データシート（SDS）をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。